

そよかぜ

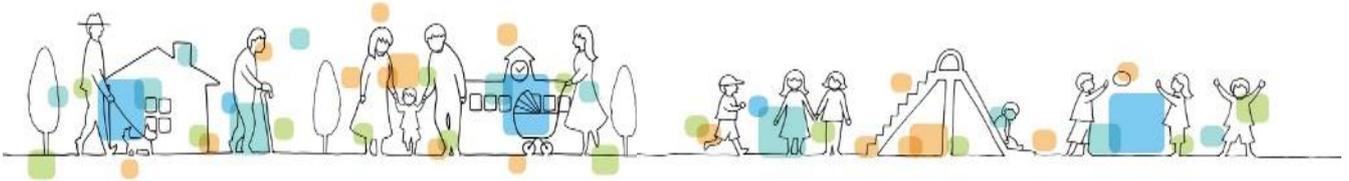
61

2025/2/1

社会福祉法人長須賀保育園

編集人：広報委員会

発行人：堀口貴宏



ご挨拶

このたび、昨年の理事会において前堀口文男理事長の後任として理事長を拝命いたしました。その責任の重さを痛感し、いまだ身の引き締まる思いであります。

前理事長におかれましては、長年にわたり社会福祉法人長須賀保育園の先頭に立ち、多大なるご尽力をいただきました。これまで様々な課題を解決へ導き、当法人の発展に大きく貢献されたことに対し、心より敬意と感謝を申し上げます。また、今後も広い視野から引き続きご指導を賜れることに、深く感謝申し上げます。

当法人の歴史は、終戦直後に始まります。一人の女性が国から払い下げを受けた兵舎の一角で、生活に困窮する引揚者や戦災孤児を支援したことが、その第一歩でした。日本中が焦土と化し、戦後の混乱のなか、創業者がどのような思いで活動を始めたのかを今となっては知るすべはありませんが、誰もが苦しい時代

なかで当時の運営が非常に困難であったことは想像に難くありません。その後、昭和二十三年、個人立として長須賀保育園が設置認可され、昭和四十九年に法人化を果たしました。同時期にゆりかご保育園を開園し、昭和の終わりから平成にかけて、高齢者福祉への取り組みが始まりました。以来、幾多の苦難を乗り越え、

地域の皆さまの温かい支援のもとで成長を遂げてまいりました。

私たちの活動は、子どもたち、ご高齢の方々、その家族、地域の皆さまをはじめ、自治体や企業、関係団体など、本当に多くの方々を支えられて成り立っています。その支えに心から感謝しつつ、私たちにとって最も大切なことは、そうした期待にしっかりと応えることです。

そのためには、常に社会に開かれた法人であり、地域と共に歩む存在であり続けることが欠かせません。また、福祉を「特定の人のための支援」として捉えるのではなく、「社会全体を支える基盤」として位置づけ直すことが必要であると考えています。福祉がすべての人の日常に根ざ

し、誰もが自然に参加できるものとなるよう、新しい試みも積極的に挑戦してまいります。

これから先も、多くの出会いを大切にしながら、一步一步やれることを精一杯取り組んでいく所存です。人と人とのつながりが温かく感じられる地域社会を願い、歩みを進めていきたいと思っております。

早咲きの河津桜がちらほら彩りを添える頃となりました。遠くからは学童さんの声。おそらくサッカーに興じているのでしょう。春の足音は確実に近づいています。

子どもたちや利用者の笑顔、家族の安心、そして職員のやりがいある日々を思い描くと、自然と顔がほころびます。どんな時も前を向き、希望を胸に、笑顔あふれる未来を目指して。

これからも皆さまの変わらぬご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人 長須賀保育園

理事長 堀口 貴宏



普段の生活の中には、自然とからだをつくる動きがたくさんあります。ゆりかご保育園の螺旋階段は全部で23段。2歳児クラスになると、部屋が2階にあるため、毎日この階段を昇り降りします。4月当初は一歩ずつ慎重に上っていた子どもたちも、毎日の積み重ねの中で、今では自分でしっかりと手すりを掴み、スムーズに移動できるようにになりました。

それだけではありません。雑巾がけやクラスの椅子運びなど、子どもたちの「自分たちでやってみよう」という気持ち大切にしながら、積極的に挑戦します。室内での食事準備の場面でも同じです。お皿やコップを運んだり、机を拭いたりする動作を繰り返す中で、自然と腕や体幹が鍛えられていきます。この「自分でやりたい！」の実現の積み重ねが、腕や足の力をつけるだけでなく、「自分でできた！」という自信につながっていきます。

小さな手で一生懸命頑張る姿、「あつ、できたよ！」と嬉しそうに話す顔を見ると、大人も一緒に喜びを感じられます。日常の中の温かい時間が、未来への大きな力になっていくのです。

あそび、運動、生活が、 こころとからだ をつくる



あつ、できたよ！

体を動かすことは、身体だけでなく心にも良い影響を与えます。子どもには成長の基盤を、お年寄りには元気でいきいきとした毎日をもたらしてくれる、大切な習慣です。日常生活に適度な運動を取り入れることで、すべての世代が健やかで笑顔あふれる毎日をご過ごせるようになります。今回の特集では、そんな日々の活動にスポットを当てました。ぜひお楽しみください！



楽しく身体を動かしましょう

「運動」と聞くと、「もう年だし、無理かも…」なんて思うことはありませんか？デイサービスでは、利用者さんが自然に楽しく身体を動かせるよう、さまざまな取り組みを行っています。今回は、その中でも人気の体操レクリエーションをご紹介します。

1 タオル体操

タオル1枚で椅子に座ったままできる手軽な運動です。タオルを使うことで体のバランスがとりやすくなり、筋肉をしっかり伸ばせるだけでなく、握る動作が握力の向上にもつながります。さらに、全身の血行を促進し、体のこりの解消や姿勢改善も期待できます。疲労回復にも役立つ、まさに一石三鳥です。

2 テーブルホッケー

バーを持ち、広いテーブルの上で丸い盤を滑らせて相手のゴールを狙うゲームです。フェイントをかけたり、スピードを競ったり、熱い攻防が繰り広げられるたびに会場は大盛り上がり！笑顔あふれる時間であり、熱中することで体が自然と動きます。

3 口腔体操

食事前に皆さん一緒に「口腔体操」を行っています。この体操は、口や舌をしっかり動かすことで滑舌を良くするだけでなく、噛む力や飲み込む力を鍛える効果もあります。お顔の表情もイキキしてきますよ。

今この瞬間を楽しむ力

保育園には、子どもたちが夢中になれる外遊びがたくさんあります。鬼ごっこやかけっこ、または鉄棒、ブランコ、すべり台といった遊具を使った遊びに加えて、縄跳びや缶ポックリなどの道具を使った遊びもあります。そこに友だちが加わると、さらに楽しく、バラエティ豊かな遊びが広がります。子どもたちにとっては、大好きでわくわくする時間です。

そんな遊びの中では、子どもたちの自由な発想や想像力がキラキラと輝くことも。たとえば、雨上がりにできた小さな水たまりを見つけた子どもが、「ここは温泉だよ！」と大はしゃぎ。おもちやの人形を「お客さん」に見立てて並べると、次の瞬間には水たまりにどっぷり浸からせて、「気持ちいいですね〜」と楽しそうに接客を始めました。

それだけでは終わりません。別の子どもが「温泉にお湯を足さなきゃ！」とジョウロで水を汲み、水たまりがみるみる大きくなる始末。そのうち「温泉があふれた！これは大変だ！」と、今度は箒で水を掃き始め、職員たちは笑いをこらえるのに必死。「そんなふう

うに遊ぶなんて！」と驚きつつ、大人には思いつかないユニークな発想に感心せずにはいられません。身近なものが子どもたちの手にかければ、新しい世界へと変わる——そんな瞬間が、日常の中にはたくさん隠れているのです。

こうした遊びは、楽しさだけでなく、子どもたちの心と体を健やかに育む大切な役割を持っています。何度も挑戦を繰り返し、ついに縄跳びが跳べるようになったときの「できた！」という達成感。自分の体を思い通りに動かせたという成功体験は、子どもたちの心を大きく成長させます。この「できた！」の喜びが、「次もチャレンジしてみよう」という前向きな気持ちや、諦めない強い心を育んでくれるのです。

遊びの時間は、子どもたちにとって楽しい一言では表しきれないほど、貴重な成長の場です。外遊びの中で見せる笑顔が、その何よりの証。「やりたい！」と突き動かされる瞬間を何よりも大切にしたいと思います。ふと立ち止まって、子どもたちが教えてくれる『今この瞬間を楽しむ力』に気づけば、大人にとっても遊ぶことは素敵な学びの時間になるのかもしれません。



餅つき・獅子舞

伝統文化に親しむ



保育園でお餅つきをしました！

お米の状態からスタートし、子どもたちは順番に「ペッタン、ペッタン！」と楽しそうに杵を振り下ろします。重たい杵も先生と一緒にならへっちゃら。「よいしょ！」の掛け声に合わせて力いっぱいお餅をつきました。もち米がだんだん柔らかくなり、美味しそうなお餅に変わっていく様子に、子どもたちは目を輝かせて真剣に見入っていました。

お餅つきの後には、なんと獅子舞が登場！色鮮やかな獅子の姿に、ちょっぴり怖がりながらも興味津々。勇気を出して獅子に近づき、頭を「ぱくっ！」と食べてもらおうと、「これで今年も元気いっぱいだね！」と大喜びでした。

お正月ならではの伝統行事を通して、みんなで楽しい時間を過ごし、心も体もポカポカになった1日でした！



製作活動

バレンタインデー



バレンタインデー製作では、ビー玉アートに挑戦しました！ビー玉に絵の具をつけてコロコロ転がすと、カラフルで個性あふれるアートが完成。そのあとは、画用紙の格子編みに初挑戦です。ベースの画用紙に入った切り込みに、帯を交互に通していく作業は少し難しそうでしたが、保育士と確認しながら進めるうちにコツをつかみ、「できた！」と笑顔を見せてくれました。バレンタイン当日には、その作品にお菓子を入れて持ち帰る予定です。

演奏ボランティア

心温まる音楽にふれて



3か月に1度、ボランティアの鹿野さん（ギター）と細野さん（バイオリン）が来所し、どこか懐かしい名曲の数々を披露していただきます。生演奏に合わせて、利用者の皆さんが口ずさんだり、手拍子をしたりと、とても楽しそうな様子が見られました。「生演奏は迫力があって、心に響くね」と感動の声も。中には「音楽に合わせて踊りたい」とおっしゃる方もいらっしゃいました。次回は、そんなリクエストにも応えてくださるとのこと。どんな曲が登場するのか、ぜひご期待ください！



子育て支援センター イベント 2025/2.3月

さとの子育て支援センター

2月

- 3(月) 節分イベント
- 12(水) AM 散歩&園庭遊び
- 18(火)~20(木) 季節の製作
- 27(木) PM 赤ちゃん集まれ

3月

- 3(月) ひなまつりイベント
- 7(金) AM 散歩&園庭遊び
- 12(水)~14(金) 季節の製作
- 25(火) AM 外で遊ぼう
～ぱくぱくタイム
- 27(木) PM 赤ちゃん集まれ

うみまち子育て支援センター

2月

- 5(水) 園庭遊び
- 7(金) 赤ちゃん集まれ
- 18(火)19(水) 季節の製作

3月

- 3(月) ひなまつりイベント
- 6(木)12(水) 赤ちゃん集まれ
- 10(月) 園庭遊び
- 18(火)19(水) 季節の製作

※ホームページ掲載の最新スケジュールをご確認ください。

生活発表会

本番に向けて練習中！



日頃の保育活動で得た学びを家族に披露する生活発表会。劇の台本を読み合わせたり、少し難しい体操に挑戦したりと、子どもたちは毎日やる気いっぱいです。練習の様子が気になって、年下の子たちもそばでじっと見つめています。発表会当日には、「こんなことができるようになったよ！」と胸を張ってステージに立つ子どもたちの姿に期待していただいね。

